



# せたがや区議会だより

No.222

平成21年(2009年)11月21日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 平成20年度決算を認定

第3回  
定例会

## 新型インフルエンザ対策関連補正予算を可決

第3回  
臨時会



世田谷区立小学校連合運動会の様子

### 第3回定例会 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。第3回定例会には、区長から31件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、議員の派遣も決定しました。

●20年度各会計決算の認定 6件

○一般会計

国民健康保険事業会計

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

後期高齢者医療会計

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

老人保健医療会計

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

介護保険事業会計

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

中学校給食費会計

可否同数  
賛成 良、公明、世田谷、無所属  
反対 民主、共産、生、政策、社民、  
無党派、区民、虹

中学校給食費会計は、可否同数となったため、地方自治法第116条第1項の規定に基づく議長裁決の結果、認定された。なお、決算の関連記事は6〜7ページに掲載。

●21年度各会計補正予算 6件

○一般会計(第二次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○老人保健医療会計(第一次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○介護保険事業会計(第一次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○中学校給食費会計(第一次)

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 二四六億四六〇六万八千円

国保会計 七四八億九三〇七万七千円

後期高齢者会計 一五六億三七一九万七千円

老保会計 一億三三二万八千円

介護会計 四二八億三五万六千円

給食会計 一億九八〇三万八千円

●条例の改正 7件

○区民健康村条例(全員賛成)

利用対象者の範囲の拡大と新たに設定される利用対象者の宿泊利用料金の設定など。

○保育園条例

賛成多数  
賛成 良、公明、民主、生、政策、  
社民、区民、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○松原保育園の廃止。

○ユニバーサルデザイン条例(全員賛成)

特定公共施設の遵守基準への適合義務を定めることなど。

○住環境整備条例(全員賛成)

長期優良住宅普及促進法の施行に伴う、建築計画の届出及び協議が必要な事項の追加など。

○公園条例(全員賛成)

上祖師谷六丁目公園(上祖師谷6-29-13)の新設。

●工事請負契約の締結 5件

○桜木中学校一部改築工事(全員賛成)

相手方 関東・カトウ建設共同企業体

契約金額 一〇億七二〇〇万円

○中里小学校一部改築工事(全員賛成)

相手方 神興・羽田野建設共同企業体

契約金額 九億五七六〇万円

○桜町小学校一部改築工事(全員賛成)

相手方 横山・大平建設共同企業体

契約金額 九億一九八〇万円

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上4階建(教育相談室、特別支援学級、ランチルーム、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上4階建(教育相談室、特別支援学級、ランチルーム、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

○工事概要 鉄筋コンクリート造地上3階建(特別支援学級、理科室、家庭科室、太陽光発電スペースなど)

～8ページへ続く～

### 会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団

公明 公明党世田谷区議団

民主 世田谷区議会民主党

共産 日本共産党世田谷区議団

生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団

政策 せたがや政策会議

社民 社会民主党世田谷区議団

無党派 無党派市民

区民 区民の会

虹 レインボー世田谷

世田谷 世田谷無所属の会

無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。



# 代 表 質 問

9月15日及び16日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団

上島 よしもり議員

## 行政改革の一層の推進

**質問** 今後の財政状況を見据え、行政改革を一層推進すべきだ。社会情勢の変化を踏まえ、大きく見直すべき事業を選別し、計画的に事業の廃止や縮小に取り組み、副区長 施策の優先順位を明確にして、事業の検証や見直しを図る。

## 災害時の協働体制の強化

**質問** 区が締結している災害時協力協定が有効に機能するよう、日ごろから取り組むべきだ。締結団体が一堂に会し、相互理解を深めて連携強化を図れる機会をつくれ。

## 危機管理室長 防災フェアを活用した交流会などを今後検討する。

## 水害対策の強化

**質問** 区は豪雨対策基本方針案を示したが、具体策を着実に進めることが重要だ。雨水貯留浸透施設の整備促進を図るとともに、新技術の導入で施設の機能向上を図れ。

## 土木事業部長 設置費の助成拡大や新技術の採用を検討する。

## 契約制度の見直し

**質問** 極端な低価格落札が続いており、落札事業者の破産による区民生活への影響が懸念される。事業者の健全経営や区内事業者の活用拡大に向け、契約制度を見直し。

## 財務部長 工事請負契約での最低制限価格の変更など、対策を行う。

## 配慮を要する児童の放課後対策

**質問** 身辺の自立が難しく放課後をひとりで過ごすことが困難な児童への支援が急務だ。学童クラブでの配慮を要する児童の受入対象を小学6年まで延長せよ。

## 子ども部長 受け入れの充実に向け、速やかに検討を進める。

## 高齢者見守りネットワークの構築

**質問** 超高齢社会の到来を見据え、高齢者がいつまでも安心して暮らせる社会づくりに取り組むべきだ。地域のきずな再生ともなる高齢者見守りネットワークを構築せよ。

副区長 構築に向け区民や事業者などの協力を得て事業を拡大する。

## 介護施設の整備推進

**質問** 介護に必要な高齢者が安心して暮らすために不可欠な介護施設が不足している。介護者の負担軽減を図る観点からも、整備計画の前進しなどで早急に対応せよ。

## 地域福祉部長 国の動向なども踏まえ整備誘導に積極的に対応する。

## レンタサイクルの利用拡大

**質問** 区内3駅において自転車の相互利用が可能なレンタサイクルシステムが好評だ。レンタサイクルポートを増設して利便性を高め、さらなる利用拡大を図れ。

## 交通政策部長 増設し、利用者の幅が広がる新たな展開を検討する。

## 安全な自転車走行環境の整備

**質問** 自転車は環境負荷が少なく利用を促すべきだが、自転車関連の事故はふえており対策が急務だ。モデル事業などの成果を踏まえ、安全な自転車走行環境を整備せよ。

## 土木事業部長 だれもが安全に通行できる環境整備を着実に進める。

## 工口道路の積極的な整備

**質問** 道路整備に環境対策の視点を取り入れるべきだ。歩行者の体感温度を和らげる効果が高い遮熱性舗装などの工口道路の整備を駅周辺や商店街で積極的に進めよ。

## 土木事業部長 駅周辺や商店街の道路なども対象に整備を進める。

## 世田谷9年教育の検討状況

**質問** 区は世田谷9年教育を新学習指導要領の完全実施に合わせて行うとしているが、残された時間は限られている。現時点での検討状況と今後のスケジュールを示せ。

## 教育長 最終報告に向け検討を進めており、近々素案を報告予定だ。

## 図書館のあり方の検討

**質問** 今後の区立図書館のあり方の検討では、特色を持たせることによる利用価値の向上や利用時間の拡大、効率的な運営といった視点が必要だ。今後の進め方を示せ。

**教育長** 非常に重要な視点だと認識しており、多角的に検討する。

公明党世田谷区議団

佐藤 弘人議員

## 高齢者見守りネットワークの構築

**質問** 急速に進む高齢化への対策が急務だ。高齢者実態調査の結果を活用し、孤独死を防ぎ地区まちづくりの支援にもつながる高齢者の見守りネットワークを構築せよ。

## 副区長 高齢者の見守りを推進するため、順次事業拡大に取り組む。

## 都立梅ヶ丘病院の跡地利用の構想

**質問** だれもが将来にわたって安心して暮らせるよう、世田谷の福祉を再構築すべきだ。都立梅ヶ丘病院跡地に保健医療福祉の拠点を整備し、一体的な事業展開を図れ。

## 副区長 幅広い意見を精査し、都の動向も見定め区長の判断を仰ぐ。

## 介護職員の待遇改善に向けた支援

**質問** 国は介護職員の処遇改善などに取り組む事業者への助成制度を創設したが、資格要件が厳しく申請は困難だと聞く。制度の活用が進むよう、事業者を支援せよ。

## 区長 事業者にきめ細かな支援を行うよう関係部署に指示した。

## 外郭団体の業務改善の促進

**質問** 公益法人制度改革への対応が急務だ。区の補助金などへの依存度の引き下げを主眼に、外郭団体の業務改善を一層促進せよ。

## 区長 全外郭団体が不断の努力を行い、改革を進めるよう指導する。

## 小中学校の教員の負担軽減

**質問** 小中学校の教員の残業が民間企業と比べて多いことは、国の調査結果からも明らかだ。教員が子どもと向き合う時間を確保するためにも、負担軽減策を講じよ。

## 教育政策部長 今後子どもと向き合う時間をふやせるよう努める。

## 中央図書館と教育センターの充実

**質問** 区は図書館ビジョン素案で、中央図書館の規模や機能の拡充を掲げている。併設の教育センターも、区の84万の人口規模に見合うものとなるようあわせて充実せよ。

**教育長** 中央図書館像の検討とあ

わせ、具体的な方向性を検討する。

## 保育待機児解消に向けた区の決意

**質問** 保育待機児解消への区の努力は評価するが、いまだに解消には至っておらず、認可園の分園の増設など一層の取り組みを強く求める。22年度に向けた決意を示せ。

## 子ども部長 さまざまな手法を活用し、全力を挙げて取り組む。

## 配慮を要する児童の放課後対策

**質問** 配慮を要する児童の放課後対策は重要な課題だ。友達と触れ合う機会をふやすためにも、学童クラブでの配慮を要する児童の受入期間を小学6年まで延長せよ。

## 子ども部長 受け入れの充実に向けた具体的な検討を進める。

## パンデミック対策の実践手順

**質問** これまでのパンデミック対策では物品の備蓄に重点が置かれていたが、今後は対策をどう実践するかが重要だ。物品の配分方法など、具体的な実践手順を示せ。

## 保健所長 対策の具体的な手順などを示す計画の素案をまとめた。

## 世田谷区議会民主風 風問 ゆたか議員

**民主党政権交代への区長の対応** 衆院選の結果は、長らく続いた自民党政権に、多くの区民がノーを突きつけたことになり、自民党政権に携わってきた区長は区政をどのように変えていくのか。

## 区長 国の動向に応じて、自治体の首長として適切に対応する。

## NPOの育成に向けた支援の強化

**質問** 民主党政権は事業仕分けなどを導入し、NPOなどへの業務移管を進めていくと表明している。区もNPOをより活用し、中間支援団体の育成や支援を強化せよ。

## 生活文化部長 今後NPOを初め中間支援組織の育成に努める。

## 外郭団体への再就職の改善

**質問** 区職員が退職後に外郭団体に再就職している現状は、失業率が過去最悪の状況下で区民に理解されない。区は改善に取り組め。

日本共産党世田谷区議団

村田 義則議員

## 教育費の負担軽減策の拡充

**質問** 衆院選では各党が教育費の負担軽減を公約に掲げた。この国民的な意識を踏まえ、経済的理由で教育格差が生じないように区が率先して就学援助の拡充などを行え。

## 教育次長 就学援助の認定者数や認定率などの動向を注視していく。

## 特養ホームの増設

**質問** 福祉優先の予算編成を行い、社会保障の充実に取り組むべきだ。200人の特養ホーム待機者の解消に向け、施設の増設に全力を挙げよ。

## 地域福祉部長 機会を逃さず、事業者の整備誘導に努める。

## 外環道整備の見直し

**質問** 計画したら目的を失っても進める自公政権による公共事業は、改めて住民の目線で見直すべきだ。巨額の費用を投じる外環道整備の見直しを国や都に強く求めよ。

## 道路整備部長 外環道は首都圏全体として早期整備が必要な道路だ。

## 二子玉川再開発に対する地域の声

**質問** Ⅲ街区に出現した超高層マンションは、地域住民が築いた町並みとは全く異質なものだ。今後着手するⅡa街区は見直すべきとの地域の声をどう受けとめるのか。

## 拠点整備部長 にぎわいと魅力のあるまちの実現に向けて取り組む。

## 生活支援に直結した補正予算



# 代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/  
**議会中継**をクリック！

生活者ネットワーク世田谷区議員  
桜井 純子議員

## 障がい者施策の今後の展開

**質問** 障がい者が安心して地域で自立した生活を継続できる社会を実現すべきだ。障がい者の視点に立ち、生涯にわたって総合的に支援する体制を早急に整備せよ。

**副区長** 第2期障害福祉計画では、具体的、計画的な施策を推進する。中高生世代への支援

**質問** 中高生世代への体系的な支援が喫緊の課題だ。後期子ども計画に若者の支援を明確に位置づけた上で具体的な支援策を打ち出せ。

**子ども部長** 子ども・青少年問題協議会で青少年施策を検討予定だ。ワークライフバランスの推進

**質問** ワークライフバランス推進に関する指針の素案が示されたことで、区における男女共同参画が一層進むものと期待する。今後の施策展開に向けた意気込みを示せ。

## 男女共同参画条例の制定

**質問** 23区で約半数の区が男女共同参画に関する条例を制定している。ワークライフバランスの推進など、大きな社会変革を目指す当区も男女共同参画条例を制定せよ。

**生活文化部長** さまざまな角度から検討したいと考えている。

**プラスチックのリサイクル拡充** 10月からのプラスチックのリサイクル拡充は評価する。今後の事業展開に当たっては、目標を明確に示し、区民と将来像を共有しながら計画的に進めよ。

**清掃リサイクル部長** 資源回収などの目標を示し、総合的に展開する。

**本庁舎の文化的な価値の検証** 本庁舎整備の検討に当たっては本庁舎が持つ近代建築としての価値を考慮すべきだ。本庁舎の歴史的、文化的な価値を調査せよ。

**副区長** 本庁舎等整備審議会答申での課題とともに整理、検討する。

せたがや政策会議  
小泉 たま子議員

## 区の将来に向けた基本姿勢

**質問** 地域社会や区民意識が大きく変化する今、今後の区政で変えるものと変えないものを明確に示すことが重要だ。区の将来を見据えた基本的な姿勢を表明せよ。

**区長** いつまでも住み続けたいと思える区政運営に全力を挙げる。本庁舎整備のあり方

**質問** 庁舎問題では建物の構造的機能だけが問われているのではない。区民に身近な支所やまちづくり出張所の機能を最大限発揮できる本庁舎となるよう検討せよ。

**副区長** 本庁舎等整備審議会答申を尊重し、課題を整理し検討する。まちづくりセンターの展開

**質問** 区は以前、まちづくり出張所を地区の総合案内役とし、まちづくり支援には専門家の活用を検討すると述べた。まちづくりセンターとなった後の展開を示せ。

## 区民一人ひとりへの支援の充実

**質問** まちづくり出張所は地域団体への対応を重視する余り、区民一人ひとりへの支援が不十分だ。区は相談機能の充実を掲げたが、今後どうサービスを向上するのか。

**生活文化部長** 区民一人ひとりの立場で相談に応じる窓口を目指す。施設を合築する際の機能統合

**質問** 出張所とあしんすこやかセンターを合築する整備方針は評価するが、併設するだけでは意味がない。双方の機能の統合を図る視点を持って施設整備を進めよ。

**政策経営部長** 複合化によるメリットを最大限生かせるよう努める。外郭団体への区議会の関与

**質問** 公益法人制度改革に伴い、区議会議員を外郭団体の評議員にしないという区の提案は、外郭団体の運営に議会が関与できなくなるものであり問題だ。見解を示せ。

政策経営部長 指摘の点については、今後検討していく。

## 老朽化する都市施設への対応

**質問** 道路や下水道など、普段区民から見えづらい施設の老朽化への対策が重要だ。全区調査を実施し、計画的かつ着実に取り組め。

**副区長** 効果的、計画的な改修に向け、整備方針などの検討を行う。外環道周辺地区の将来ビジョン

**質問** 区が外環道整備の専門部署を設けたことを評価する。今後、地域の理解を得ながら整備を進めるために、区としての周辺まちづくりの将来像を区民に明確に示せ。

**道路整備部長** 21年度中に区としての地域の街づくり方針案を示す。世田谷の公教育のあり方

**質問** 義務教育に果たす区立校の役割を今一度見詰め直すべきだ。地区にしっかりと根つき、保護者から支持される学校づくりに向け、区の公教育とは何かを明示せよ。

## 教育長 区立校の教育こそが区にふさわしいと思える学校を目指す



まちづくり出張所の名称がまちづくりセンターに変わりました

## 本文中で使用している省略表記

土木事業部長 土木事業担当部長  
交通政策部長 交通政策担当部長  
保健所長 世田谷保健所長  
子ども部長 しみどりのみず政策担当部長  
当部長  
拠点整備部長 生活拠点整備担当部長  
支所 総合支所

# 一 般 質 問

9月16日及び17日の本会議では、28名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

高久 則男議員(公 明)  
小規模多機能型施設の整備促進

## 小規模多機能型施設の整備促進

**質問** 在宅生活が困難な高齢者へのきめ細やかな支援が必要だ。多様なサービスを同一拠点で切れ目なく提供できる小規模多機能型住宅介護施設の整備を進めよ。

**答弁** 今後も都補助金の活用を促すなど、積極的に整備誘導を図る。特養ホームの整備誘導

**質問** 在宅介護が困難となった場合のとりである特養ホームの待機者がふえ続けている。区施設の合築時などにスペースを確保し、特養ホームの整備誘導を図れ。

**答弁** 今後とも積極的に事業者を支援し、整備誘導に努める。貸付制度を活用した財源確保

**質問** 公共施設への自動販売機の設置に当たり、スペースの貸付制度を活用して入札を実施し、収入をふやした自治体がある。区もこうした仕組みの導入を検討せよ。

## 山木 きょう子議員(生 ネ)

**障がい者の相談支援体制の充実** 障がい者が地域で安心して暮らすには、本人や保護者への支援が重要だ。あらゆる障がいに対応できるように、専門相談員の配置などにより相談体制を強化せよ。

**答弁** 研修などにより、相談従事者の専門性の向上に一層取り組む。障がい者のショートステイの増設

**質問** 障がい者のショートステイの増設を求める声は多いが、整備に必要な場所の確保が困難な状況だ。都営下馬団地の建てかえに合わせ、ショートステイを整備せよ。

**答弁** 障害者施設を含めた福祉施設の整備を都に要望している。学校図書館へ専任司書の配置を

**質問** 学校図書館で子どもが読みたい本などを案内する司書の存在は、読書活動を推進する上で重要だ。教員との兼務や臨時職員ではなく、専任の司書を配置せよ。

**答弁** 臨時職員と教員との連携強化で学校図書館の整備充実を図る。

鈴木 昌一議員(自 民)  
教科日本語の取り組みの成果

## 教科日本語の取り組みの成果

**質問** 真の国際人となるためには、日本語をしっかりと身につけ、日本人としてのアイデンティティを確立することが必要だ。区が取り組む教科日本語の成果を示せ。

**答弁** 子どもが自分自身を見詰めるなどの機会となっている。地域における国際交流活動の支援

**質問** 国際理解を進める取り組みとして、国際平和交流基金を活用し、地域における国際交流活動を支援する助成制度を創設したことを評価する。取り組み状況を示せ。

**答弁** 5つの活動への助成を決定し、活動が活発に進められている。文化芸術の力を生かした取り組み

**質問** 景気が低迷する中、文化芸術の持つ経済効果を生かした施策を講じるべきだ。策定予定の新せたがやアートプランに経済的視点を取り入れ、地域の活力を高めよ。

## 石川 征男議員(自 民)

**区の緊急総合経済対策の成果** 緊急総合経済対策であるプレミアム付区内共通商品券の発行支援は、区民や事業者の心をとらえた事業であったと評価する。この事業の成果に対する評価を示せ。

**答弁** 地域経済の活性化や商店街振興などに貢献できたと考えられる。商店街街路灯の安全点検事業

**質問** 厳しい経済状況の中、商店街の活動に対する区の一層の支援が必要だ。区が今定例会に補正予算で提案した商店街街路灯の安全点検事業の意義と効果を示せ。

**答弁** 商店街の安全性確保のため、国の緊急雇用創出事業を活用した。農業の担い手確保への取り組み

**質問** 区内農業の存続のためには、農業を支える人材の確保が最も重要だ。新たに導入した認定農業者制度の活用を図るなど、若以後継者の育成に積極的に取り組め。

**答弁** 多様な担い手の育成や支援に積極的に取り組む。



# 一 般 質 問

里吉 ゆみ議員(共産)

## 核廃絶に向けた取り組み

核廃絶に向けた世界的な機運が高まっている。平和市長会議への加盟や核不拡散条約再検討会議への代表の派遣を実現するなど、区としても積極的に取り組む。

答弁 平和映画祭などを通じて世界平和に向けた取り組みを進める。

## 図書館での点訳サービスの実施

区立図書館はすべての区民に必要な図書を提供すべきであり、視覚障害者が必要なサービスを受けられない事態などあってはならない。点訳サービスを実施せよ。

答弁 利用者のニーズを把握し、効果的なサービスの充実に努める。

## 給田の墓地建設問題への対応

給田の墓地建設問題に対し、特養ホームの隣への墓地建設は慎重に審査すべきだとの趣旨の請願が出され、7月の委員会で採択された。区はどう対応するのか。

答弁 申請があった場合は、法令や基準にのっとり慎重に審査する。

## 重政 はるゆき議員(民主)

### 全高齢者実態把握調査の進捗状況

全高齢者実態把握調査の方法として、精度を高める観点から全戸訪問を求めてきたが、区は7月に調査票を郵送する方法で実施した。調査票の回収状況を示せ。

答弁 9月1日現在で10万8800人から回答があり、回収率は72.3%だ。

### せたがや福祉市民会の運営組織

21年中に発足する予定のせたがや福祉市民会には、運営組織として理事会が設けられると聞く。この理事会が区の退職者の天引き先とならないことを明言せよ。

答弁 理事は無報酬と認識しており懸念のことは起きないと考える。

### 新型インフルエンザ対策の強化

国の緊急雇用促進事業の追加交付分は喫緊の課題に充てることが重要だ。追加交付分の補正予算案には、新型インフルエンザ対策の一層の強化充実を盛り込め。

答弁 今後も柔軟な対応が求められており、万全の体制で取り組む。

宍戸 のりお議員(自民)

## 新たな自治体間交流のあり方

厳しい経済状況のもと、特に地方では産業の衰退などの問題が深刻化している。地方の活性化という新たな視点を加え、今後の自治体間交流のあり方を検討せよ。

答弁 相互に補完し合えるような交流のあり方を鋭意検討する。

## 新たな融資あっせん制度の創設

区の緊急特別小口制度が小規模事業者への大きな支援となっている。区内事業者への一層の支援策として、中規模事業者向けの新たな融資あっせん制度をつくれ。

答弁 既存制度を見直す中で、新たな制度構築の可能性も検証する。

## 新型インフルエンザ対策の強化

新型インフルエンザの感染拡大により、重症患者がふえることが懸念される。区民自身が感染予防に取り組めるよう適切な情報提供を行うなど、対策を強化せよ。

答弁 予防に向けたパンフレットの区内全世帯への配布などを行う。

唐沢 としみ議員(社民)

## 新たな自治体経営への意識改革

区民主体の分権社会の実現には、責任と実行力を持ち、次代を切り開く力量を備えた自治体経営が不可欠だ。職員の意識改革を徹底し、区民の意識改革をも促せ。

答弁 職員だけでなく区民を巻き込んだ意識改革を積極的に進める。

## 庁舎問題への区民参画の確保

庁舎問題の検討は、拙速に進めることなく区民に丁寧の説明し、議論を重ねることが大切だ。審議会の答申を踏まえ、区民参画の確保に積極的に取り組む。

答弁 答申で示された課題や、今後の進め方などを整理、検討する。

## 図書館サービスの向上

図書館サービスを向上するには、運営を外部に任せ前に、まずは職員自身が努力することが重要だ。職員の資質と能力を最大限引き出せるよう研修を充実せよ。

答弁 今後も職員の技量向上を常に意識し、積極的に取り組む。

青空 こうじ議員(無所属)

## 子ども環境デーの今後の展開

体験を通して身につける勉強は、子どもの興味を引き、結果的に生きる力にもつながる。子どもの理数離れに危機感が持たれる中、巧みな演出で子どもの興味を引きつける体験教室など、効果的な体験学習の機会を提供した子ども環境デーの今後の展開を示せ。

答弁 学習意欲を高め環境行動につながるため、より魅力的な体験の機会が持てるよう努める。

## 体験学習の充実

区は教育ビジョンに基づき、中学生によるドリウムジャズバンドなど、体験学習を区内大学や地域人材と連携して進めてきており、この取り組みを区内外に発信する教育フォーラムを高く評価する。

教育フォーラムでの発表や議論の成果を体験学習の充実に生かせ。

答弁 体験学習に参加した生徒の声の紹介や参加者の拡大などにより、取り組みの充実に努める。

桜井 稔議員(共産)

## エコー仲見世商店街の電灯料補助

三軒茶屋のエコー仲見世商店街の通路の電灯は、閉店後も区民の安全のために点灯されている。商店街の支援と地域の安全の観点から、閉店後の電気代を補助せよ。

答弁 地域の防犯灯としての観点から、関係部署で調整したい。

## 桜丘2丁目の廃屋への安全措置

桜丘2丁目の廃屋は壁などが崩れ大変危険な状態であり、区は適正管理を求めたが、所有者は一切応じていない。周辺住民の安全のため、法的措置を講じよ。

答弁 建物の管理は所有者の責務であることを粘り強く指導する。

## 就職チャレンジ支援事業の拡充

派遣切りなどによる失業者の増加で、職業訓練と生活費給付を行う都の就職チャレンジ支援事業の応募者が定員を大きく上回る状況だ。定員拡充を都へ要請せよ。

答弁 特別区福祉事務所長会などを通じて、都へ働きかけていく。

中村 公太朗議員(民主)

## 太陽光発電装置を使った環境教育

太陽光発電を身近に感じることが、児童生徒の省エネ行動につながる。区立校の屋上に設置されている太陽光発電装置を環境教育の素材として積極的に活用せよ。

答弁 太陽光発電装置を通じて環境への関心が深まるよう取り組む。

## 学校の警備体制の強化

区立校の昼間時警備委託では数時間しか警備員が配置されない。24時間安全安心パトロールの費用を削減して学校警備に充てるなど、学校の警備体制を強化せよ。

答弁 今後とも、より効果的かつ効率的な昼間時警備に取り組む。

## 区内の大使館との連携

区内に6つの大使館があるという恵まれた環境を生かし、国際交流の推進や区民の国際意識の醸成に積極的に取り組むべきだ。

答弁 区内の大使館との連携を強化せよ。

あべ 力也議員(区民)

## 多重債務者への生活再建の支援

多重債務者の生活再建には、債務整理だけでなく、生活保護の適用など、さまざまな角度からの支援も必要だ。関係部署が情報を共有し実効性ある支援策を講じよ。

答弁 今後も消費生活課を中心に関係部署が連携し、相談に応じる。

## 多重債務者への継続的な支援

多重債務者の問題解決を図るには、きめ細かな対応が必要だ。区に多重債務に関する相談をした区民の相談後の実態把握を行い、その後の継続的な支援を生かせ。

答弁 福祉の面でサポートなど、細やかな対応で支援に取り組む。

## 動物愛護推進協議会の設置

動物愛護推進協議会を設置し、収容した犬の殺処分を減らすなどの成果を上げている。区も動物行政を関係者と協議する場を設けよ。

答弁 関係連絡会との意見交換などを通じて、動物愛護を推進する。

岡本 のぶ子議員(公明)

## 重度心身障害者の生活基盤の整備

親の高齢化が進む中、重度心身障害者が地域で暮らし続けられる環境の整備は喫緊の課題だ。グループホームの整備など、生活基盤の整備を着実に進めよ。

答弁 社会福祉法人などと連携しながら、生活基盤の確保に努める。

## 子宮頸がんワクチンの普及啓発

子宮頸がんのワクチンが年内に承認される見込みだ。予防接種の対象年齢が10・12歳であることを踏まえ、学校と連携して接種の必要性について普及啓発を行え。

答弁 保健所と教育委員会が連携し、普及啓発について検討する。

## 入札制度の見直し

区の入札では、過度の低価格落札が続いており、倒産する事業者まで出ている。区内事業者の健全経営に向け、最低制限価格の見直しなどの対策を講じよ。

答弁 工事請負契約での最低制限価格などについて対策を講じる。



都内の自治体で初めて導入された次世代電気自動車



西村 じゅんや議員(民主) 経費削減に向けた取り組み

質問 税収減が見込まれる中、一層の経費削減が必要だ。庁内情報システムの構築に当たっては、導入費用だけでなく、廃棄までの総経費を勘案して経費を削減せよ。

答弁 経費削減の方策を積極的に研究し、さらなる効率化を進める。

利用しやすいホームページの構築

質問 インターネットを利用する高齢者や障害者がふえている。22年度に一新する予定の区のホームページは、だれもが利用しやすいものとなるよう十分に配慮せよ。

答弁 よりわかりやすく活用しやすいホームページ構築に取り組み。

区のホームページ上の広告事業

質問 税収以外の財源の確保に一層取り組むべきだ。ホームページ上のバナー広告や茨城県が採用したりスティング広告など、新たな手法を取り入れて収入増を図れ。

答弁 インターネットを活用した広告事業について研究する。

羽田 圭二議員(社民) 安定した雇用の拡充

質問 安定した雇用の拡充が求められている。区の公共事業の受注先に適正な労働条件を確保させる公契約上の一定のルールづくりに向け、具体的な検討を始めよ。

答弁 公共事業の発注者として、入札契約のあり方の検討を進める。

ワークライフバランスの推進

質問 男女が平等に働き続けられる環境の整備が重要だ。区外就労や中小企業が多い当区の現状を踏まえ、働きながら子育てする世代への支援などに一層力を注げ。

答弁 地域で生き生きと生活できるように実情に合った支援に努める。

重症心身障害者への支援

質問 障害者やその家族の安心を支えることは区の重要な役割だ。家族への支援や親亡き後対策の充実に向け、重症心身障害者の医療的ケアつき入所施設を新設せよ。

答弁 国や都との役割分担も踏まえ、支援のあり方を検討する。

吉田 恵子議員(生ネ) 平和に関する草の根活動の支援

質問 平和都市宣言の具現化には、平和の大切さをアピールする草の根活動が不可欠だ。区民の平和学習の機会をふやすため、こうした活動が継続できるように支援せよ。

答弁 後援名義使用の承認などにより今後でもできる範囲で支援する。

まちづくり関連条例の整理

質問 区のまちづくりに関する条例や計画は数多く、区民にはわかりにくい。区が街づくり条例の改正を機に実施するとして関連条例の整理の進捗状況を示せ。

答弁 検討組織を立ち上げ現行条例の内容の整理などを行っている。

街づくり条例への区民意見の反映

質問 まちづくりを進める上で、区民との信頼関係の構築は不可欠だ。区民と考える街づくりフォーラムでの区民意見を街づくり条例の改正にしっかりと反映せよ。

答弁 区民意見を真摯に受けとめ、条例改正に向けて検討を重ねる。

杉田 光信議員(公明) 豪雨対策の強化

質問 豪雨対策では雨水を蓄えるまちづくりが重要だ。公共施設への雨水貯留浸透施設の設置や、民間施設への設置助成制度の拡充など、多様な手法で対策を強化せよ。

答弁 助成制度の拡充の検討や施設改築に合わせた整備などを行う。

介護サービスの質の向上

質問 介護サービス利用者の人権が守られる環境の整備に取り組みべきだ。区への苦情は介護サービスに携わるすべての人と共有し、サービスの質の向上につなげよ。

答弁 サービスの質の向上に向け、苦情対応の仕組みの確立を図る。

医療と福祉が連携した施設の整備

質問 区には中核病院がないため、中間的医療とリハビリ機能を備えた施設が必要だ。在宅復帰支援に向け、都立梅ヶ丘病院跡地に医療と福祉が連携した施設をつくれ。

答弁 跡地利用については、指摘の点も踏まえ、検討を進める。

畠山 晋一議員(自民) 畠山 晋一議員(自民) 積み集積所の環境美化

質問 区が20年に行ったごみの分別区分変更で、収集時間が午前から午後に変更となったごみ集積所では、ガラス被害によるごみの散乱で夏場には異臭を放つなどの実態がある。早朝収集の実施や夏場に収集回数をふやすことなどにより、集積所の環境美化に取り組め。

答弁 区民の理解と協力を得ながら、環境美化に配慮した収集体制を、来夏に向けて検討する。

教育の基本である道義の復活

質問 日本人が失いかけている道徳心を取り戻すため、教育の基本である道義の復活に取り組むべきだ。教科日本語で触れている書道、華道などや中学校で必修となる武道の実施に当たっては、教育現場の体制を十分に整え、古来日本人に伝わる道の文化を実践せよ。

答弁 児童生徒が日本の伝統に親しみ、日本に伝わる道の文化について学ぶ機会を充実を図る。

上杉 裕之議員(民主) 区条例に適合した建築確認

質問 良好な住環境の維持に向け、区は独自に種々の規制を条例で定めている。民間指定機関での建築確認がふえている中、条例の実効性を区はどう担保しているのか。

答弁 専門部署を設置し、不備のないよう体制を整備している。

区内農地の保全

質問 農地保全に向け、区は生産緑地や宅地化農地などを一定の条件のもとで都市計画緑地として指定する方針を示した。土地所有者の意向を十分尊重し丁寧に進めよ。

答弁 指定に当たっては所有者の意向を確認し、合意を得て進める。

地域自立支援協議会の参加者

質問 地域自立支援協議会のエリア部会は障害者本人や事業者の声を聞くための場であるが、知的障害者の関係者が入っていないとの声があった。参加者の実態を示せ。

答弁 だれでも参加できる場であり障害者本人なども参加している。

木下 泰之議員(無党派) 区長が後援会長となること是非

質問 20年8月に、区長は自民党の国会議員の後援会長に就任した。現職の区長が特定政党の議員の後援会長となることについて、法的、制度的、道義的に問題はないのか。

答弁 法的、制度的、道義的にも問題がないことを確認している。

後援会長であることの道義的問題

質問 区民目線と主張し無所属当選の区長が、自民党国会議員の後援会長となり政治活動を支えるのは道義的に問題。自民目線だ。区長は今後も後援会長を続けるのか。

答弁 21年8月31日に、後援会長を辞任している。

公共事業情報の秘密・操作は問題

質問 国や都がかかわる公共事業を主体性なく押し進めてきた区の姿勢を反省すべきだ。外環や連立事業等の必要な情報を国や都から積極的に取得して区民に公開せよ。

答弁 検討中の流動的な情報の公開は、混乱を招くおそれがある。

大場 やすのぶ議員(自民) 文化施設のトイレの改修

質問 世田谷美術館のトイレは半数が和式であるなど、時代に合っていない。文化都市の世田谷にふさわしいサービスを提供するため、区の文化施設のトイレを改修せよ。

答弁 だれもが文化施設を安心して快適に利用できるよう配慮する。

区民ニーズを踏まえた施設改修

質問 地区会館などの集会所施設は多くの区民に利用されているが、施設内の畳に座ることで足腰に負担を感じる高齢者がふえている。区民ニーズに合わせて改善せよ。

答弁 改修や改築の際に、利用者の意見を十分聞いて整備を進める。

図書館職員の意識改革

質問 世田谷の新しい魅力づくりは区立図書館を活用すべきだ。多くの区民が利用しやすくなるような特色ある図書館づくりに向け、図書館職員の意識改革に取り組み。

答弁 専門研修や地域の事業への参加などを通して意識改革を図る。

上川 あや議員(虹) 身障者補助犬の避難所受け入れ

質問 過去の震災地では、多くの避難所で補助犬同伴への理解が得られなかったと聞く。区は避難所運営マニュアルを見直し、補助犬受け入れに向けた環境整備を図れ。

答弁 課題や対応などを整理した上で、マニュアルに反映させる。

庁舎に補助犬用トイレを設置せよ

質問 補助犬使用者が外出時に最も苦勞することの一つは、犬の排泄場所の確保だと聞く。ユニバーサルデザインを進める区として、庁舎に補助犬用トイレを設置せよ。

答弁 設置場所の問題など解決すべき課題もあるが、検討していく。

手話通訳者派遣制度を改善せよ

質問 区の手話通訳者派遣制度は、回数制限などの制約が多く当事者に利用抑制を迫る内容になっている。利用上限の撤廃か引き上げを行い、利用しやすい制度に改めよ。

答弁 利用実績などを考慮した上で、今後の検討課題とする。

藤井 まな議員(民主) 区職員の新型インフルエンザ対策

質問 現在流行している新型インフルエンザに職員が集団感染しないよう、万全の対策を講じるべきだ。職員の家族が罹患した場合、職員に報告を義務づけているのか。

答弁 所属長が総務部に速やかに連絡するよう、徹底している。

インフルエンザと震災の同時発生

質問 東京での大地震の発生確率が高まっているという調査結果を国は7月に発表した。強毒性のインフルエンザと大地震の発生が重なった場合の対応を示せ。

答弁 業務の選択と人員の集中の観点から、全庁を挙げて対処する。

子どものスポーツの振興

質問 子どもの体力の向上に向け、子どものスポーツの振興に力を注ぐべきだ。スポーツの世田谷を目指す区として、子どもがかかわるスポーツ大会などを一層支援せよ。

答弁 現在支援していない団体の活動状況の把握に努める。

稲垣 まさよし議員(民主) 配慮を要する児童の放課後対策

質問 23区で16区の児童クラブが配慮を要する児童を小学6年まで受け入れているにもかかわらず、当区では小学4年までが対象だ。小学校卒業までを受入対象とせよ。

答弁 配慮を要する児童の受け入れの充実に向け、検討を進める。

障害のある中高生の放課後対策

質問 障害のある中高生を持つ親は、将来に備えて働きたくても、子どもの放課後の居場所がないために働き続けられない実態がある。障害児タイムケア事業を拡充せよ。

答弁 今後増加するニーズへの対応を図るため基盤拡充を検討する。

自主生産品の販売促進

質問 福祉作業所の工賃アップを図り障害者の作業意欲の向上や自立につなげるため、自主生産品の販売を促進すべきだ。自主生産品カタログの認知度向上に取り組み。

答弁 ポスターの作成など認知度向上に向けた取り組みを検討する。

ひうち 優子議員(世田谷) 駅での行政サービスの提供

質問 駅を行政サービスの核とする取り組みが注目されている。乗降客数や駅舎の規模に応じて保育所やデイケアサービスを設けるなど、区民の利便性向上に努めよ。

答弁 公共施設整備方針などの整合を図りながら対応していく。

駅への行政サービス拠点の設置

質問 既存の駅に行政サービス拠点を設置することは、スペースの確保の面で困難だ。駅舎が変わる下北沢、東北沢、または京王線連立事業の際に、設置を検討せよ。

答弁 公共利用については公共施設整備方針などを踏まえ判断する。

区の業務継続計画の策定

質問 災害発生後の業務の継続と早期復旧を図るための行動計画を策定する企業がふえている。区民の生命と財産を守る区として自治体の業務継続計画の策定を急げ。

答弁 地震編については、22年度の早い段階で案を固めたい。



# する会派等の意見

決算特別委員会での質疑・要望や、本会議で表明された20年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議員……山口ひろみ議員  
公明党世田谷区議員……岡本のぶ子議員  
世田谷区議会民主党……重政はるゆき議員  
日本共産党世田谷区議員……岸 武志議員  
生活者ネットワーク世田谷区議員……竹村 津絵議員  
せたがや政策会議……大庭 正明議員  
社会民主党世田谷区議員……羽田 圭二議員  
無党派市民……木下 泰之議員  
区民の会……あべ 力也議員  
レインボー世田谷……上川 あや議員  
世田谷無所属の会……ひうち優子議員  
無所属……青空(うし)議員

## 行財政改革を一層推進し 多様化する行政需要にこたえよ

自由民主党世田谷区議員  
(すべての会計に賛成する意見)

世界的な経済不況が底入れしたとの見方が出始める中、日本経済にも一部に景気持ち直しの兆しが見られた。しかし、9月の失業率は過去最高水準となっており、いまだ日本経済の先行きは不透明だ。こうした中、区は安全安心のまちづくりを初め、子育て支援の充実やみどり33の実現などの重点施策を進める一方、行財政改善にも努めてきた。また、時期をとらえて緊急経済対策や新型インフルエンザ対策、保育待機児対策を講じた。これらの取り組みを評価する。

20年度の財政健全化判断比率から区財政の健全性は確認できたが、多様化する行政需要に的確にこたえるため、より柔軟な財政基盤を構築すべきだ。外部評価制度を通じた事務事業の見直しを初め、職員の見直しや受給者負担などの観点から行財政改革を一層推進し、基金の確保と起債の縮減にも努めて健全財政を堅持せよ。

以下、具体的な施策について意見を述べる。

新型インフルエンザワクチンの接種に際し、区民が混乱しないよう正確かつ迅速な情報提供を行え。

畦畔などをめぐる区民との係争事件には司法の最終判断を待つて対応すべきと考えるが、今後同様の事態が予測されることを踏まえ、最善の方策を導き出すよう努めよ。

災害に強いまちづくりに向け、地域の防災訓練で起震車を活用し、家具転倒の危険性を広く啓発し、家具転倒防止器具の取り付け支援制度の利用を促せ。災害時職員行動マニュアルの整備も早急に行え。公益法人制度改革を機に、外郭団体に自立を促すとともに、透明性確保に向けて十分な指導を行え。

都立梅ヶ丘病院の跡地に、保健福祉関連施設を一体的に整備し、療養病床や高齢者の福祉的住宅などを十分に確保せよ。

地域商店街活性化法に基づく支援事業の活用促進や地域街づくりと協働した商店街事業での成果の有効活用など、商店街への支援を強化せよ。また、区の特徴を生かした工業やものづくり産業への支援、新たな産業の誘致、農商工業の連携強化にも取り組め。

認知症の予防施策や認知症に関する相談機能を充実せよ。また、高齢者が社会貢献を通じて生きがいを持つる社会づくりに取り組め。さらに、障害者の自立を支援し、社会参加を促す施策を展開せよ。

新BOPの充実に向け、学童クラブでの配慮を要する児童の受入期間を小学6年まで延長せよ。また、保育待機児対策とあわせて在宅子育て支援を強化せよ。

CO<sub>2</sub>削減に向け、公共施設へのLED照明器具の導入や区所有のエコカーを活用した区民への意識啓発などに全庁を挙げて取り組め。

京王線連立事業の早期実現に向け、万全の体制で臨め。また、コミュニティサイクルのネットワークを拡大するとともに、安全な自転車走行環境の整備と自転車利用者への安全運転の周知徹底を図れ。さらに、からぼりつきマンションの建設を制限する条例の実効性を高めるための事業者への指導徹底

橋梁の適切な維持管理、狭い道路の解消などにも一層取り組み。区立校での英語活動の充実など、子どもへの国際感覚を磨く施策を進めよ。また、部活動の活性化に向け、大会に参加する際の支援の充実などに努めよ。さらに、地域教育力向上への取り組みや総合型地域スポーツクラブ設立への協力などで地域と学校との連携を強化し、地域に根ざした学校経営を進めよ。給食会計における支出の超過は、まことに残念な事態だ。再発防止の徹底を図るとともに、今後も安全安心な給食づくりに取り組め。

## 区民生活最優先の区政を進め 格差と貧困の解消に取り組め

日本共産党世田谷区議員  
(一般会計と国保会計と後期高齢者会計と介護会計と給食会計には反対、老保会計には賛成する意見)

昨秋の世界的な金融危機以降、区民生活は一層厳しさを増している。区はここぞ格差と貧困の解消に全力で取り組むべきだ。我が党は、区民生活最優先の区政の推進、平和な社会と核兵器廃絶の実現、区民を主人公とした施策の展開という3つの視点を柱とした新たな区政の実現に向け、以下を要望する。

後期高齢者医療制度や外環道の延伸計画などの見直しを国や都に求めよ。都立梅ヶ丘病院の存続を都に求めよ。保健医療福祉の拠点となる施設は他の場所を検討せよ。

就学援助を拡充せよ。介護保険料や国保料、区民税の軽減策を拡充せよ。認可保育園をふやせ。官製ワーキングプアの解消に努めよ。

二子玉川再開発のIIa街区は事業化せず、都市計画を見直せ。区民から反対の声がある補助54号線などの大規模な道路事業を見直せ。

平和都市宣言25周年を機に、NPT再検討会議への区の代表団の

## 区民自治の確立に向け 区民主体の区政運営を行え

生活者ネットワーク世田谷区議員  
(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

区は保育施設を増設するとともに、多角的に子育て支援策を展開し、高齢者の在宅生活支援の充実にも取り組んだ。また、大蔵第二運動公園を緑豊かな公園にするとした。さらに、プラスチックの資源回収を拡充した。加えて、DV対策などを一層進めるために男女共同参画担当課を設置した。こうした点から一般会計に賛成する。

給食会計については、不適切な事務処理で160万円も支出を超過させた。責任体制に問題があったことを重く見て、反対する。

区民自治の確立に向けNPO等との協働を進めよ。出張所やまちづくりセンターを区民主体のまちづくり拠点として一層機能させよ。ひとり親家庭や若者の支援を強化せよ。子育てや介護の支援、障がい者への支援を進めるために必要な施設を公共施設跡地につくれ。

区民主体のまちづくりに向け公共事業に地域の声を十分反映せよ。災害時の避難所運営における女性の役割は大きい。女性の視点を盛り込んだ災害対策を講じよ。

戦災体験を語り継ぐ事業を展開せよ。外郭団体の改善を推進せよ。

## 区民生活を重視した施策を講じよ

社会民主党世田谷区議員  
(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

給食会計の不適切な事務処理の再発防止に向けた体制強化を図れ。税収が悪化する中にもあっても、子育て支援や在宅介護支援などの福祉や社会保障のための予算は優先的に確保せよ。福祉や環境、教育の分野での新たな雇用の創出を支援し、区内産業を活性化せよ。

区の独自性や地域性を発揮した社会保障を充実せよ。住民参加で地域課題を解決する仕組みを確立せよ。温暖化対策と容器包装プラスチックの資源化を一層推進せよ。

就学援助を拡充せよ。核兵器廃絶を目指す平和市長会議に加盟せよ。

## 生活者の視点で区政を運営せよ

区民の会  
(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

政権交代を自治体の政策を大きく転換する好機ととらえ、真に生活者の視点に立った、区民が豊かさを感じられる区政への変革を実現せよ。見て見ぬふりをしてきたさまざまな区政課題を明らかにし、国の政策に頼ることなく地域特性に合った施策展開で解決を図れ。

## 区民目線で予防型行政を確立せよ

レインボー世田谷  
(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

チエックの甘さで、160万円もの支出超過を招いた給食会計は認定しない。11年間放置してきた災害時職員行動マニュアルは早急に整備せよ。羽田拡張後の航空機騒音に予防的に対処せよ。庁舎に補助犬用トイレを設置するなど少数派のニーズに想像力を持つて当たれ。

## 区民の目線で区役を果たせ

世田谷無所属の会  
(すべての会計に賛成する意見)

子育て世代を支援するため、幼児2人乗せられる3人乗り自転車の購入費を助成せよ。認知症対策では任意後見制度を積極的に周知し、活用を促せ。区施設にネーミングライツの手法を用いて歳入増を図れ。補助154号線の整備に合わせ、バス路線の導入も検討せよ。

## 職員のさらなる資質向上に努めよ

無所属  
(すべての会計に賛成する意見)

現場の実情に即したきめ細かい行政サービスが提供できるよう、職員が地域の歴史を学び、外に出てまちを知る研修を充実せよ。人は褒められて伸びる。職員表彰制度を広げ、職員の資質向上を図れ。笑顔や身だしなみなど窓口対応の心構えの大切さを職員に徹底せよ。



決算特別委員会での採決の様子

## 区民不在の土建型政策を改めよ

無党派市民  
(すべての会計に反対する意見)

グリーン(エコロジカル)ニューデールに逆行の大規模再開発は見直せ。踏切解消の連立事業から道路新設や高層誘導を切り離せ。京王線連立事業は地下とせよ。生産緑地買取り義務を果たせ。情報秘匿・操作を繰り返す姿勢は問題だ。区長不信任の立場で決算認定反対。





決算特別委員会の質疑の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継**をクリック！

# 20年度決算に対

行政経営改革をさらに進め  
 福祉と教育を充実せよ

公明党世田谷区議員

(すべての会計に賛成する意見)

20年度決算において、普通会計による財政指標が適正水準だったことなどは評価するが、一部に執行率が低い事業が見られた。22年度予算の編成では、算定根拠を明確にせよ。給食会計での支出超過については、再発防止を徹底せよ。

景気は底を打ったと言われるものの、雇用の悪化はとまらない状況だ。政権交代に伴う混乱などにより、一層景気が悪化する可能性もある。景気動向を見据えた大胆な景気回復策が求められている。

区では、22年度予算において、約70億円の減収が予測されている。基金の取り崩しや起債だけに頼らず、行政経営改革を一層推進すべきだ。区有財産の有効活用や外郭団体の改善、補助金の見直しなどを強化するとともに、我が党が主張してきた事業仕分けの手法を取り入れ、事業の見直しを図れ。

以下、個別具体的な課題について意見を述べる。

初めに、少子化対策と子育て支援は喫緊の課題だ。認可保育園や認証保育所の整備促進、保育ママ制度の充実などのあらゆる手法を用いて早急に保育環境を充実せよ。また、今後子ども人口が減少に転じることを想定し、保育事業者のインセンティブを高める施策を講じよ。さらに、幼児教育の主導的な役割を担う区立幼稚園を安易に認定ことも園に転換するのではなく、まずは、今後の幼児教育に対する区の方針を明示せよ。加えて、配慮を要する児童の放課後対策では、学童クラブでの受入期間を早急に小学校6年まで延長せよ。

第2に、高齢者の見守りについて区が体系化して検討を進めよう

としていることは評価するが、見守りネットワークの展開に当たっては、地区におけるまちづくりの視点が抜けてはならない。支所にある保健福祉課の機能を出張所とまちづくりセンターに移し、あんしんすこやかセンターなどと緊密に連携した見守りネットワークを構築せよ。さらに、見守りネットワークを有効に機能させるため、都立梅ヶ丘病院跡地への保健医療福祉拠点の整備実現に早急に取り組み。また、高齢者の在宅生活の支援や高齢者専用住宅の確保が急務だ。民間事業者の先進的な取り組みなども踏まえ、在宅療養施設と住宅施策を複合した世田谷型高齢者福祉モデルタウンを構築せよ。

第3に、新型インフルエンザ対策は緊急の課題だ。今後強毒性に変異する可能性も踏まえ、感染拡大の防止やパンデミック後の被害を最小限に抑える観点から、国が示した優先順位に基づき早急に予防接種を実施するとともに、接種費用の助成などにも取り組む。

最後に、教育は国や自治体の未来を決める最重要政策であり、教育への投資は将来の経済成長にもつながる。厳しい財政状況であっても、着実に教育施策を進めよ。

## 国の政策の動向を見据え 区民の目線で区政運営を行え

世田谷区議会民主党

(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

一般会計外4会計は適切に処理されたと認めて賛成する。給食会計については、財務事務が複雑で誤りが起こりやすいにもかかわらず、厳重なチェックがなされなかったために支出超過となり、当初予算を大幅に上回る決算となったことを重要視して反対する。

政権交代による大幅な政策転換が想定される一方、22年度は景気

後退による70億円もの歳入減が見込まれている。22年度の予算編成に当たっては、事業の十分な調査や検証を行い、区民ニーズや施策の優先順位を見きわめよ。

以下、個別具体的な施策について意見を述べる。

無駄の排除が喫緊の課題である今、早急に事業仕分けの手法を取り入れよ。また、入札制度を見直し、透明性と実効性を一層確保せよ。さらに、外郭団体へのチェック機能の強化や、指定管理者の選定過程の透明性確保に努めよ。ICTを活用して業務の効率化を図り、同時に職員のICT活用能力の向上にも取り組む。区の広報紙やホームページにユニバーサルデザインの視点を一層取り入れよ。また、区ホームページに広告を掲載し、自主財源の確保を図れ。

プレミアム付区内共通商品券の追加発行の支援については、継続的な産業振興への有効性を検証した上で判断せよ。若者の就労支援を一層推進せよ。新政策が温室効果ガスの削減目標を25%としたことを踏まえ、コピー用紙の削減など、庁内での環境対策も徹底せよ。農地保全方針の決定に当たっては、農家の理解を得て慎重に進めよ。

高まる保育需要を踏まえ、保育待機児受入枠拡充のための環境整備に着実に取り組む。新BOPの大規模化への対応や配慮を要する児童の放課後対策の拡充に努めよ。在宅介護世帯への負担軽減に向けて支援を充実せよ。障害者が働きやすい環境の整備に一層取り組む。新型インフルエンザ対策においては、今後の流行に備えた実効性ある事業継続計画を策定し、全庁的な体制で臨め。あわせて、予防接種費用への助成を検討せよ。

住宅などの耐震化の促進に向け、一層の普及啓発や助成制度の拡充を行え。ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるため、ハード面とともに、福祉団体などの協力を得てソフト面からも取り組む。



東京都調布市で行った合同総合防災訓練の様子

教育委員会の透明性確保に向け、教育委員会で議論が活発に行われるよう努め、議事録をホームページでも公開せよ。学校改築の際は、区民集会所などの合築を進めよ。

## 議会との情報共有を徹底し 正確な手続で予算を執行せよ

せたがや政策会議

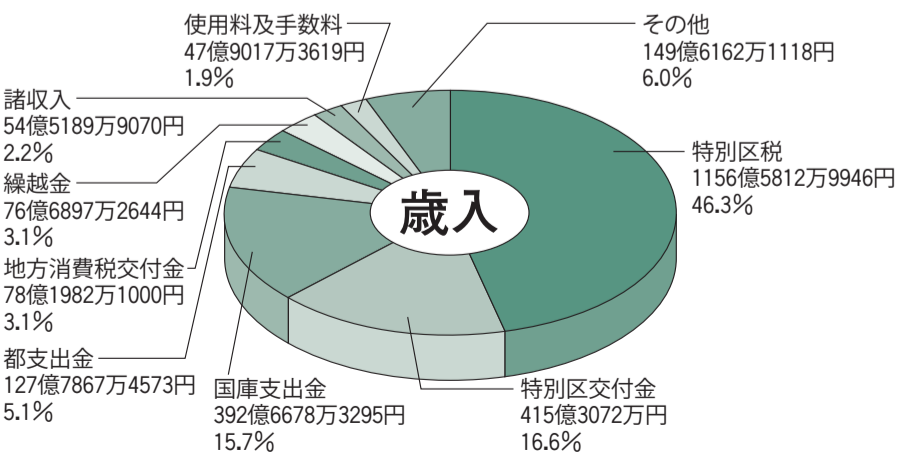
(給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

20年の決算特別委員会において、区は認証保育所の補助金不正受給問題を区議会会期中に議会へ報告しなかったことを厳しく問われたが、先の予算特別委員会の開催中に給食会計で160万円もの支出超過が発覚したにもかかわらず、今回も議会に報告しなかった。この事態は議会軽視と言わざるを得ない。議会への迅速かつ誠実な報告は、区民に対する情報公開の原点であり、区政を健全な状態に保つ第一歩であることを肝に銘じよ。また、160万円の一般会計からの流用を議会の承認のいままま進めたことは、違法性がないとはいえない問題だ。適正な手続を経ず、違法性の可否だけで予算の流用に踏み切った区の行動は、議会との信頼関係を損なうものだ。議決機関である議会と緊密な情報共有を図り、正確な手続による予算執行に万全を期せよ。

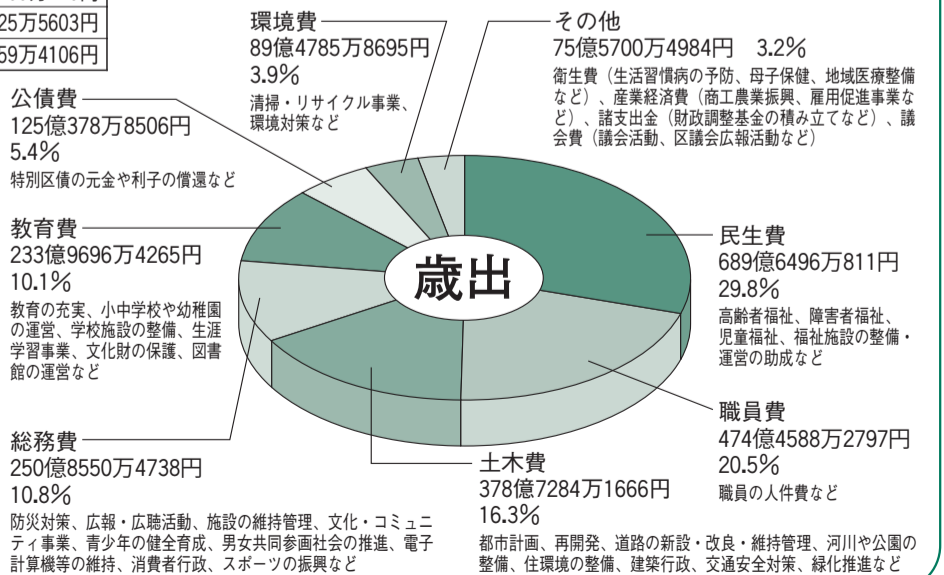
### ●平成20年度各会計決算額●

	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	2499億2679万5265円	5.4%	2317億7480万6462円	1.0%	181億5198万8803円
国民健康保険事業会計	766億8098万7915円	-2.8%	731億8886万6611円	-3.7%	34億9212万1304円
後期高齢者医療会計	135億3286万4364円	皆増	134億3990万6112円	皆増	9295万8252円
老人保健医療会計	58億9681万3205円	-89.6%	58億8714万3531円	-89.7%	966万9674円
介護保険事業会計	403億2654万1960円	3.9%	401億8494万1490円	4.9%	1億4160万470円
中学校給食費会計	2億1144万2125円	9.4%	2億1118万6522円	9.6%	25万5603円
計	3865億7544万4834円	-6.2%	3646億8685万728円	-9.1%	218億8859万4106円

### 一般会計決算の内訳 (%=構成比)



## 平成20年度 決算のあらまし





# 第4回定例会は11月25日から12月4日まで開催する予定です

## 議会日誌

### 閉会中に開催された委員会

- 6月30日(火) 企画、区民、文教
- 7月1日(水) 福祉、都市
- 2日(木) 議運
- 14日(火)～16日(木) 福祉(視察)、都市(視察)
- 15日(水)～17日(金) 企画(視察)、文教(視察)
- 21日(火)～23日(木) 区民(視察)
- 28日(火) 企画、区民、文教
- 29日(水) 福祉、都市
- 8月21日(金) 議運
- 9月2日(水) 企画、区民、文教
- 3日(木) 福祉、都市
- 4日(金) 分権、オウム、清掃、交通
- 7日(月) 議運
- 10月23日(金) 福祉、都市、交通
- 11月4日(水) 福祉
- 10日(火) 議運
- 12日(木) 企画、区民、文教
- 13日(金) 福祉、都市

### 会期中の主な会議日程

- 9月15日(火) 第3回定例会本会議(代表質問)、議運
- 16日(水) 本会議(代表質問、一般質問)、都市、議運
- 17日(木) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託など)、決算、都市、議運
- 18日(金) 企画、区民、文教
- 24日(木) 福祉、都市
- 25日(金) 企画、分権、オウム、清掃、交通
- 29日(火) 本会議(議案の議決など)、議運
- 10月1日(木) 決算(総括質疑)
- 2日(金) 決算(企画総務委員会所管分)
- 6日(火) 決算(区民生活委員会所管分)
- 7日(水) 決算(福祉保健委員会所管分)
- 9日(金) 決算(都市整備委員会所管分)
- 13日(火) 決算(文教委員会所管分)、オウム
- 15日(木) 決算(補充質疑)、区民
- 20日(火) 本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運
- 11月13日(金) 第3回臨時会本会議(議案の付託、議案の議決など)、企画、議運

### 委員会名称

- 企画=企画総務委員会
- 福祉=福祉保健委員会
- 文教=文教委員会
- 分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会
- オウム=オウム問題・災害・防犯等対策委員会
- 清掃=清掃・リサイクル対策委員会
- 交通=公共交通機関対策等委員会
- 決算=決算委員会
- 区民=区民生活委員会
- 都市=都市整備委員会
- 議運=議会運営委員会

施設名称	指定管理者
桜上水福祉園	
奥沢福祉園	
烏山福祉園	
障害者就労支援センターすきつぷ	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
砧工房、砧工房分場キタミ・クリーンファーム	

●指定管理者の指定 (全員賛成) 1件

○仮称用賀複合施設新築工事 (全員賛成)  
相手方=太平・儘田建設共同企業体  
契約金額=五億二七〇万円  
工事概要=鉄筋コンクリート造地上3階建 「用賀保育園」3歳児室2、4歳児室2、5歳児室2、太陽光発電スペースなど  
「用賀出張所・用賀あんしんすこやかセンター」事務室2、相談室2、区民フロア12など

○砧中学校一部改築工事 (全員賛成)  
相手方=立石・中秀建設共同企業体  
契約金額=七億八千七百万円  
工事概要=鉄筋コンクリート造地上3階建(教育相談室、特別支援学級、視聴覚室、太陽光発電スペースなど)  
○駒沢生活実習所  
九品仏生活実習所  
千歳台福祉園  
下馬福祉工房  
玉川福祉作業所  
玉川福祉作業所等々力分場

○治大夫橋架替工事請負契約 (全員賛成) 1件  
6月に締結した工事請負契約の請負者が工事続行不能となり契約を解除したため、改めて行った工事請負契約の締結。

●専決処分の承認 (全員賛成) 1件

●訴えの提起 1件  
○土地所有権移転登記等請求事件の控訴の提起  
原告に所有権があることを確認し、区に所有権移転登記手続を命ずる内容の判決に不服があることを理由とする控訴の提起。

所在地	延長(m)
桜丘4-5	102・45
大蔵5-7	79・05
北烏山3-16	43・79

●特別区道路線の認定 3件  
賛成=自民、公明、民主、共産、政策、民生、無所属  
反対=無党派、区民、虹

○正副委員長の互選結果の報告  
○決算特別委員会  
委員長 大場やすのぶ(自民)  
副委員長 岡本のぶ子(公明)  
副委員長 中里 光夫(共産)

●議員の派遣 1件  
賛成=自民、公明、民主、共産、政策、民生、無所属  
反対=共産、政策、無党派、区民

氏名	住所
志賀 剛 (再任)	中町
児玉 勇二 (再任)	宮坂
杉崎 香代子 (再任)	砧
大森 猛 (再任)	上北沢
鈴木 純一 (再任)	弦巻
照井 亮二 (再任)	下馬
鈴木 康司 (新任)	等々力
田中 富美子 (新任)	北烏山
松本 賢人 (新任)	南烏山

○相手方=日鋪建設株式会社  
契約金額=一億九千七四〇万円  
●人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成) 1件  
次の候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。

## 第3回定例会 請願

- 審議結果などをお知らせします。
- 採択したもの 1件  
○特別養護老人ホーム隣接地における墓地建設計画に関する請願 (全員賛成)
- 不採択としたもの 1件  
○二子玉川南地区暫定堤防工事について区から住民への説明を求める陳情

- 賛否は、不採択とすることに對するもの。
- 取り下げを承認したもの 2件  
○世田谷区小口零細資金緊急特別融資改善を求める請願 (全員賛成)
- 船橋の低層住宅環境を破壊する高層巨大マンション計画の根本的見直しを求めることの陳情 (全員賛成)
- 新しく出されたもの 5件  
◆企画総務委員会に付託

## 委員の選任の報告

○議会運営委員会  
大庭正明委員(政策)の辞任に伴い、小泉たま子議員(政策)を選任した。

## 第3回臨時会 請願

- 世田谷区における事業仕分け実施に関する陳情
- 小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続についての意見書等の提出を求める請願
- 小規模非住宅用地の固定資産税等の減免措置の継続についての意見書等の提出を求める請願
- 商業地等の固定資産税等の負担水準の上限を引き下げる減額措置の継続についての意見書等の提出を求める請願
- 世田谷区議会が、衆参両議院に對して人権擁護法案・人権侵害救済法案の慎重な審議を求める意見書を提出することを要請する陳情
- ◆区民生活委員会に付託 2件  
○「世田谷区小口零細資金緊急特別融資」改善を求める請願  
○食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書等提出を求める陳情
- ◆福祉保健委員会に付託 1件  
○障害児の学童クラブ登録学年延長に関する請願
- ◆趣旨採択したもの 3件  
○小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続についての意見書等の提出を求める請願 (全員賛成)  
○小規模非住宅用地の固定資産税等の減免措置の継続についての意見書等の提出を求める請願 (全員賛成)  
○商業地等の固定資産税等の負担水準の上限を引き下げる減額措置の継続についての意見書等の提出を求める請願 (全員賛成)

## 第3回臨時会 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。第3回臨時会には、区長から1件の案件が提出され、原案どおり可決しました。なお、本案に対して修正案が出され、修正案は賛成少数で否決されました。

- 21年度補正予算 1件  
○一般会計(第三次)  
賛成多数  
反対=共産、政策、無党派、区民、虹

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。  
TEL (五四三三) 二七九  
TEL (五四三三) 二七九  
FAX (五四三三) 三〇三〇

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(第3回定例会の分は12月上旬、決算特別委員会の分は12月下旬、第3回臨時会の分は22年1月上旬の発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。